

## 高気圧酸素治療に関する説明書

様

( )歳

## 高気圧酸素治療とは

高気圧酸素治療装置の中に入り、2～3気圧に加圧された状態で、純酸素吸入することにより血液中の酸素濃度を通常の10～20倍にすることが出来ます。この原理を利用し、患部に血液を介して多くの酸素を送り、障害組織の再生、炎症の早期沈静化を促す治療法が高気圧酸素です。

## 治療の必要性

障害組織の再生、炎症の早期沈静化

## 起こりうる合併症

## ●酸素中毒

過剰な酸素摂取によってもたらされる障害作用

症状・・・息苦しさ・呼吸困難・気管支炎症状・胸痛・めまい・耳鳴り・けいれんなど

## ●気圧外傷中耳圧外傷

・気圧性中耳炎（中耳スクイーズ・リバーススクイーズ）

耳管機能不全のため、加圧・減圧にて中耳腔圧が上昇・下降できないことにより発症します

症状・・・耳閉塞感、軽い耳鳴り、耳痛、鼓膜破裂など

・副鼻腔スクイーズ・リバーススクイーズ

副鼻腔炎、鼻炎、かぜなどの鼻詰まりにより、加圧・減圧時に副鼻腔の出口が閉塞している際に発症します。

症状…前頭部、頬部、目の奥などの痛み。鼻出血など

## ●その他・・・閉所恐怖症

治療中、加圧時は常に耳抜きを行ってください。安全管理のため、装置内の状況は、常にスタッフが監視しております。体の異常（頭痛・胸痛・耳痛など）がありましたら、必ず大きな声でお知らせください。症状がひどい場合には、治療を中断し、装置外に出ることもあります。

また予約の変更、治療に関するお問い合わせなどありましたら下記の連絡先までお願いします。

社会医療法人一成会 木村病院 03-5615-2111

年 月 日 上記の通り説明いたしました

説明担当医師 木村病院

医師名

同席者

氏名

医師からの説明を理解できましたか？ 理解できた 理解できなかった

# 高気圧酸素治療を受ける患者さんへ

## 患者さん、またご家族の方も、ぜひご一読ください

### 高気圧酸素治療とは

今、私たちが生活している気圧は大気圧と呼ばれ1気圧です。高気圧酸素治療では専用のタンクに入り、大気圧よりも高い2～2.8気圧(水深10mと同じ位の圧力)で100%の酸素を吸入することによって、血液中に多量の酸素を溶解させ、身体のすみずみまで酸素を行きわたらせ病態の改善を図ろうとする治療です。



### 高気圧酸素治療の主な効果

- ① 血流障害による組織の低酸素状態を改善します。  
(網膜動脈閉塞症、突発性難聴、脊椎神経疾患、末梢循環障害、骨髄炎、皮膚移植など)
- ② 酸素の抗菌作用を利用し、細菌の発育を阻害する抗菌効果があります。  
(ガス壊疽、壊死性筋膜炎、感染症など)
- ③ 生体内にできた気体を圧縮・再溶解することによる抹消循環の改善効果があります。  
(イレウス、減圧症など)

### 治療時間・回数

主治医の指示にもよりますが1回60分(2気圧時)、加圧と減圧にそれぞれ10～15分かかりますので、全体で80～90分程度です。回数は1日1回と少ない場合は5～10回、多いときは20～30回行います。

### 高気圧酸素治療を受ける前に

- ① 狭心症・心筋梗塞・不整脈で治療を受けられている方。
- ② 呼吸器の疾患(治療中のぜんそく、気胸)がある方や以前に開胸手術を受けたことがある方。
- ③ 耳の悪い(悪くなりやすい)方、鼻水・鼻づまりのひどい方、妊娠中の方。
- ④ 狭い空間に入ることに抵抗がある方。  
このような方は医療スタッフに申し出てください。

### 高気圧酸素治療の副作用

- ① 気圧障害: 肺損傷、聴覚異常、副鼻腔障害など。
- ② 酸素中毒: めまい、悪心、呼吸困難、痙攣など。
- ③ 減圧症: 緊急減圧時の減圧中に発生します。

## 安全な高気圧酸素治療に向けて

治療中のタンク内は高圧となりなおかつ100%の酸素を使用しますので安全のためタンク内に持ち込めるものに制限をさせていただきます。

- ① 専用（綿100%）の治療着に着替えていただきます。  
中に下着類を着用する場合は麻・綿100%のものでお願いします。
- ② 整髪剤（ヘアートニック、ヘアークリーム等）や化粧品・香水をつけたままタンク内に入ることは出来ません。
- ③ マニキュア、ジェルネイル、ペディキュア、その他爪の装飾なども不可です。
- ④ 引火性のあるもの、貴金属類や電子機器類の持ち込みは絶対に出来ません。



このほかメガネ、補聴器、鍵、ネックレス、指輪、ピアス、書物、雑誌なども持ち込み不可です。  
入れ歯やコンタクトレンズも外して来てください。

- ⑤ 治療を安全に実施するために毎回、所持品・衣類の確認：ボディチェックをさせていただきますのでご協力をお願いいたします。

◎ 基本的に治療に必要な無いものは持ち込み不可です

## 耳抜きについて

治療開始（加圧）時・終了（減圧）時は気圧が変動しますので、耳が少し痛くなることや詰まるような感覚が生じます。（電車でトンネルに入った時や、エレベーターで高い建物に昇った時と同様の感覚です）

～耳抜き方法～

- ・大きく口を開けてあくびをする。
- ・唾を飲み込む。あるいは鼻をつまんだまま唾を飲み込む。
- ・鼻をつまんで口を閉じ、鼻をかむ要領でやさしく鼻に空気を送る。

## その他

- ① 治療前には必ず排尿・排便は済ませてください。
- ② 治療前後のバイタルサイン（血圧・脈拍等）の確認、治療中は心電図モニターを装着していただきます。また静電気を除去するために腕にリングをつけさせていただきます。
- ③ 治療中は医療スタッフが1名付き添い、会話もマイクを通して出来ますので、不安なことがあればお気軽にお声がけしてください。
- ④ 気圧が安定しましたら、TVを見ることが出来ます。動ける範囲で体を動かしても大丈夫ですし、タンクの透明な壁は触っても問題ありません。
- ⑤ 部屋の温度は空調により調節していますが、寒がりの方または暑がりの方は申し出てください。また、気圧が上がるときは暑く、下がるときは寒く感じる場合があります。
- ⑥ ご質問やご不明な点がございましたらお気軽に医療スタッフにお尋ねください。

木村病院 高気圧酸素療法室